



Monthly Report (#60(1) July 2026)

Your time is limited, so don't waste it living someone else's life. (Steve Jobs)

●2026 年 7 月（2026-27 年 高橋年度）

【今月の歩み】

新年度の始まりにあたり、当クラブは「職業の話から地域を考える」を活動の柱として掲げ、ガバナー補佐訪問を通じて年間方針を共有した。また、訪問看護と林業をテーマとした卓話を開催し、地域課題への理解を深めるとともに、漆プロジェクトや ARES プロジェクトなどの奉仕活動を着実に推進した。会員相互の交流と地区との連携を深めながら、持続可能な地域貢献に向けた一年の歩みを開始した。

1. 理事会報告

令和 8 年 7 月 14 日

在仙台 11 ロータリークラブ合同名簿について、会員数分（19 部）の購入を承認した。

令和 8 年 7 月 28 日

2025-26 年度（岩淵年度）活動報告書を承認し、令和 8 年 11 月開催予定の総会へ上程することを決定した。

2. クラブ協議会報告

令和 8 年 7 月 14 日

ガバナー補佐公式訪問にあわせクラブ協議会を開催した。

今年度活動方針および委員会活動計画を共有するとともに、ガバナー公式訪問に向けた準備状況を確認した。また、クラブ運営、会員増強、基金運用、地区への要望事項について意見交換を行った。

令和 8 年 7 月 28 日

青少年短期交換留学事業への協力について協議した。受入体制や委員会設置を含めた条件整理を進めた上で、継続して検討することとした。

3. クラブフォーラム報告

令和 8 年 7 月 21 日

高橋広会長による卓話「訪問看護と精神科訪問看護」を開催した。

地域精神医療における訪問看護の役割、多職種連携、家族支援及び地域で支える仕組みについて理解を深めた。

令和 8 年 7 月 28 日

有限会社鎌田林業土木 津久井康平氏を講師に迎え、「100 年後が心配な林業」をテーマとする卓話を開催した。

森林資源の持続可能な活用、人材育成、地域林業の課題及び地域社会との連携について理解を深めた。

4. 臨時例会報告

令和 8 年 7 月 5 日、第 15 回異と和～違いが調和を紡ぐ時代へ～を開催した。AI が社会に普及する中で人間の価値がどこに見出されるかをテーマとした討論会であった。第 1 部では AI がもたらす変化を概観し、第 2 部では AI による評価の公平性が人間を幸せにするかを問い、総合討論では AI との付き合い方と人間らしさの発揮について議論を深めた。

5. 委員会活動報告

各委員会において、本年度事業を開始した。

主な活動は次のとおりである。

- 漆プロジェクトでは圃場整備及び植樹準備を継続した。
- Camino de Banzan ではインパクトハイクを開催し、健康づくりと地域資源の活用を推進した。
- ARES プロジェクトでは夏休みワークショップへ協賛し、科学教育活動を支援した。
- 公共イメージ委員会ではホームページ及び SNS を活用した情報発信体制を強化した。
- 会員増強委員会では賛助会員制度を活用した会員基盤の拡充を推進した。



6. クラブ内サークル活動報告

令和 8 年 7 月 26 日、ワイン＆珈琲愛好会主催によるフランスワインブラインドテイasting会を開催し、会員及び家族が交流を深めた。



7. 地区活動報告

令和 8 年 7 月 6 日開催の在仙台 11 ロータリークラブ合同幹事会へ、高橋会長、宮幹事及び岩渕ガバナー補佐が出席した。

また、公共イメージ向上セミナー、地区ロータリー財団セミナー等への参加準備を進めた。

8. 当月ビジター参加者

- 令和 8 年 7 月 21 日 齋藤法幸様（仙台東ロータリークラブ）
 - 令和 8 年 7 月 28 日 秋田陽子様（仙台レインボーロータリークラブ）
-

9. 8 月予定：毎週火曜日定期例会開催

- 8 月 2 日（日） 臨時例会
- 8 月 4 日（火） ガバナー公式訪問
- 8 月 9 日（日） 漆プロジェクト活動

- 8月16日(日) Camino de Banzan インパクトハイク
- 8月23日(日) 地区ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー(盛岡)

●正会員退会報告 なし

●正会員登録報告 なし

○正会員数 19名(個人会員9名・法人会員10名)

○予備会員 0名

○補欠会員数 7名

○賛助会員数 40名/50口(個人会員:30名/31口・団体会員:10組/19口)

○:7月末時点の人数です